

Alii！！

パラオから第10号目となるメッセンジャーをお届けいたします。

去年の10月3日に日本をたちパラオに来ました。それから1年が経過しました。

青年海外協力隊の任期は基本的には2年間という定めがありますので、ここで折り返し地点に立っていることとなります。

もう一年がたち、あと1年しかない、という感覚があります。何かが形として残っているような活動はできていませんが、私がこのパラオにいて一人で多くの人何か心に残るような活動が今後もできればいいなと思っております。

あと1年、健康に安全にそして、笑顔を忘れずに過ごしていきます。

今回のメッセンジャーでは、10月1日のパラオの独立記念日について紹介をいたします。

何度かこのメッセンジャーでもパラオが日本の統治化であったことはお伝えてしています。その影響でパラオ語には日本語が混ざっていたり、日本の名前を持っているパラオ人もいます。

この日本の統治時代は約33年間続きました。その前はドイツの植民地でもありスペインの植民地の時代もありました。

パラオが独立する前まではアメリカの統治でした。この時代は約47年間続いたといわれております。

パラオはミクロネシア地域の一部であったため、ミクロネシア地域全体でアメリカからの独立交渉を行っていましたがこの交渉はなかなかうまくいかず難航していました。

1978年に初めの住民投票が行われミクロネシア地域の統一国家から離脱することが投票で決定。しかし、その後もアメリカとの交渉に難航をし1993年に8度目の住民投票でアメリカとの交渉が成立。1994年10月にアメリカとの自由連合国として独立。



そして今年も23年目の独立記念日でした。



首都マルキョクの国会議事堂でセレモニーが行われました。

去年は天気が悪くパラオらしい一日ではなかったようですが、今年は晴れて美しいパラオの空に国旗と16州のそれぞれの旗が風に吹かれていました。



会場では伝統的なパラオのパフォーマンスがあったり、それぞれ16州の伝統的な食事が味わえるお店が出ていたりパラオ全体でこの日をお祝いしているのが伝わりました。



大統領からの演説もあり「今を大切に。未来のために、子供たちのために、私たちが力を合わせていこう。」と演説しておられました。



最後は台湾から援助をされた花火でこの日を祝福しました。

この23年目というパラオの独立記念日に、パラオに住んでいる方と一緒に祝いすることができいい経験をすることができました。

パラオの美しい空・海・島、素晴らしい伝統を守り、これからの時代のパラオのためにできることを今しっかりと行い次の世代に受け継いでいってほしいです。

その活動に微力ながら青年海外協力隊としての私も少しだけでもかかわれたらいいなと思っております。

お読みいただきありがとうございました！ Sulang😊